

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【ラオス】

担当講師	萩生田 幸男（高和電気工業株式会社）
実施期間	2025 年 10 月 20 日（月）～10 月 24 日（金）
実施場所	ラオス ビエンチャン市 技能開発院(SDI)
研修	技能評価トライアル(SET)
実施職種	配電盤・制御盤組立て作業 2 級

2025 年 11 月

結果概要

1. 対象者数：評価者数 10 名
 受検者数 3 名 / 合格者数 0 名（学科合格者 1 名）
 技能評価者講習(SAT)補講 対象者数 4 名 / 修了者数 4 名

2. 日程

日時	指導内容
10 月 20 日（月） 8:30～16:30 （全て現地時間） （SET）	<2 級技能評価トライアル(SET)> 【開講式】 技能開発院(SDI)において関係者（SDI 副所長及び関係者、労働省、検定課長、受講者等出席）で開講式を挙行了した。 【オリエンテーション】 ① 研修（SET）開始の挨拶（押手、萩生田） ② 受講者名簿を基に受講者チェック（受講者の前日変更等あり 10 名を確認） ③ 研修資料確認（ラオス事務局が急遽不在で研修資料のコピーが不足していて対応に時間を要した） ④ 研修内容、SESPP 内容、SET 内容を説明（押手） ⑤ 研修スケジュール確認（萩生田） 【2 級実技試験問題解説（補講）】 2 級の SET が初めてのため、昨年の研修補講として 2 級実技試験問題のポイントを解説した。 【2 級実技試験実施要領解説（補講）】 上記同様に昨年の補講として、2 級実技試験実施要領のポイントを解説した。 【2 級作業手順書解説（補講）】 上記同様に昨年の補講として、作業手順書のポイントを解説した。 【2 級実技試験採点基準の解説を採点集計表で解説（補講）】 上記同様に昨年の補講として、2 級実技試験採点基準を採点集計表を基にポイントを詳細に解説した。
10 月 21 日（火） 8:30～16:30 （SET）	【評価者職務チェックシートの解説（補講）】 2 級の SET が初めてのため、昨年の補講として評価者職務チェックシートのポイントを解説した。 【トライアル役割分担決め】 受講者が主体でトライアルの役割分担（チーフアセッサー、アセッサー、チーフアシスタント、アシスタントを決めて個々の役割を明確にした）を決めた。 【学科試験トライアル準備】 トライアルの学科試験及び実技試験の準備を実施した。 学科試験会場の確認、白板にてスケジュール、注意事項表示を確認した。

10月22日(水) 8:30～16:30 (SET)	【トライアル者 学科試験受付】 トライアル者の実技試験受付は、IDカード等を基に本人確認をして、受付名簿にサインを記載させて確認を実施した。 【2級 学科試験説明】 学科担当のアセッサーが学科試験注意事項、スケジュール等について記載内容を説明して受検者の確認を実施した。 【2級 学科試験実施】 学科担当のアセッサー及びアシスタントの2名で学科試験を担当した。 トラブルはなかった。 【2級 実技試験課題及び申合わせ事項説明】 学科試験終了後、チーフアセッサーが中心で実技試験課題及び申し合わせ事項を説明した。(今回は、前日の器材点検で一部の器材調達が上手くできてなく、接続図及び器材の定格等の変更を実施したため、詳細を説明した) 【学科試験採点】 学科担当のアセッサー及びアシスタントの2名で学科試験の採点をダブルチェックで実施した。(最終は講師が確認) 結果：1名合格 【2級 実技試験トライアル準備】 実技試験担当を中心に実技試験トライアル準備を終わるまで実施した。 【受検者アンケート実施】 受検者のアンケートをFORMSにて各自で実施した。
10月23日(木) 8:00～16:45 (SET)	【2級実施試験トライアル者受付】 トライアル者の実技試験受付は、IDカード等を基に本人確認をして、受付名簿にサインを記載させて確認を実施した。 【2級実施試験の工具・器材点検】 前日に全数点検を実施しているが、受検者自身が工具・器材点検を確認した。 また、チーフアセッサーが、注意事項等ポイントを説明した。 今回はアセッサーの指示により、端子台のパターンNo.1で設定した。 (抽選なし) 【2級実施試験実施】 予定通り試験を開始したが、途中器材の不具合(Aの取付けネジの不具合、TB端子の接続不具合等)があり、全員にロスタイム5分を追加した。 結果：2名完成、1名未完成 【2級実施試験採点】 最初のアセッサー採点を行い、次にアシスタント採点を実施した。

10月24日(金)
8:30~12:00
(SET)

【2級実施試験採点及び集計】

前日に続き、アシスタント採点を実施し、最後にアセッサー確認をして最終減点を決め、集計表にダブルチェックで転記を実施し最終結果を算出した。
結果：合格者なし

【反省会、意見交換会実施】

講師から、今回の研修の反省点を細かく説明をし、受講者全員と意見交換会を行った。

【評価者&上長アンケート実施】

評価者&上長アンケートをFORMSにて各自で実施した。



開講式



2級 技能評価者の補講実施



2級 SET 学科試験



2級 SET 実技試験
注意事項説明



2級 SET 実技試験



2級 SET 実技試験 採点



2級 SET 実技試験
動作試験



2級 SET 実技試験
完成（正面）



2級 SET 実技試験
完成（裏面）

3. 講評

今年度のラオス研修は関係者と協議検討した結果から、2級のSET（技能評価トライアル）を実施する事になった。また、2級のSETは初めてのため関係者と相談して、昨年実施したSAT（技能評価者講習）のポイントを補講することでSATの復習もできた。

今回2級のSET学科試験では合格者も出たことから問題的にも良かったが、実技試験問題では器材の調達で仕様確認不足等が前日にわかり、急遽接続図を変更して実施した。また、実技試験中に器材の不具合が発見されたためロスタイムを追加して対応した。

受検者は実技試験の練習があまり出来ておらず、1名未完成で2名は不合格となった。最後に受講者と反省会及び意見交換会を実施出来た事は次回以降に活かせると思う。

今回も現地で研修が出来た事については、関係者のご支援とご協力の賜物と大変感謝している。受講者は真面目に一生懸命取り組んで頂き、2級SETの準備・運営並びに採点・評価を理解してもらうことが出来た。

4. アンケート結果

＜SET＞

◆評価者10名（回答者10名）（※5段階評価）

満足度：	大変満足＝8人	満足＝2人
役立ち度：	大変役立つ＝9人	役立つ＝1人
向上度：	大変向上した＝7人	向上した＝3人
継続期待度：	是非とも継続すべき＝9人	継続すべき＝1人

【改善点・提案】

- ・試験用回路に使用する日本製の機器がほしい。
- ・非常に有益なので、研修を継続して実施してほしい。
- ・日本での技能試験の視察と研修を実施してほしい。
- ・電線の色の使用(N、L、L1、L2、L3)の色を区別してもらいたい。
受検者が電線の色の意味を混同しないように、各相は異なる色を持つべきだと思う。
- ・研修資料は紙媒体で準備されていたが、一部の文字サイズが非常に小さく判読不能だった。
これらの資料は事前もしくは研修開始時に共有されると有難い。
- ・実施機関(SDI)が、日本の規格に準拠した、より優れた設備を調達することを希望する。

【意見・感想・実施希望】

- ・PLC制御システム（3）
- ・建物屋内の電気設備工事職種
- ・産業用電気制御職種（2）
- ・エアコン修理
- ・配電盤・制御盤組立て作業（2）

◆受検者3名（回答者3名）（※5段階評価）

満足度：	大変満足＝3人
役立ち度：	大変役立つ＝3人
継続期待度：	是非とも継続すべき＝3人

【改善点・提案】

- ・より詳細な説明を希望する。
- ・毎年試験を実施してほしい。
- ・特に無し。とてもいい勉強になった。

【意見・感想・実施希望】

- ・電気機器修理
- ・電気関係の職種
- ・配電盤・制御盤組立て作業

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）（※5 段階評価）
継続期待度： 是非とも継続すべき＝1 人

【改善点・提案】

- ・より高度なレベルの試験であるため、試験実施前に受検者への事前研修を実施することを希望する。

【意見・感想・実施希望】

- ・左官、レンガ積み